

◆重点戦略の考え方

1 目的

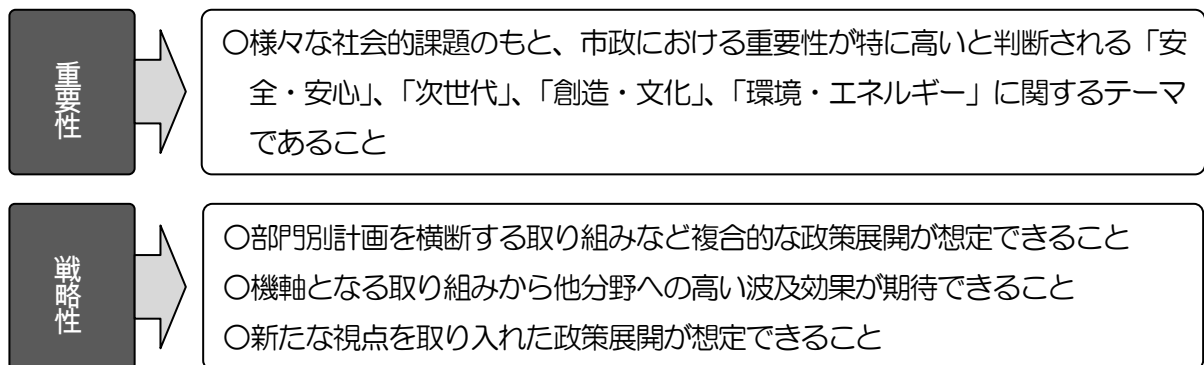
○札幌市が抱える重要な社会的課題に対して戦略的に対処することにより、新たに位置づける「都市像」や「まちづくりの基本目標」を実現すること。

2 意義

○「選択と集中」により、効果的・効率的に課題解決に取り組むことができる。
○今後、特に力を入れて取り組むべき施策・事業を、パッケージ化し可視化することにより、行政と市民・企業等との共有が図られるとともに、パートナーシップが促進される。

3 テーマ選定における視点

○「まちづくりの基本目標」において、地域と経済に極めて密接につながっている「安全・安心」、「次世代」、「創造・文化」、「環境・エネルギー」の4つの重要性の高い分野からテーマを選定する。
○また、各分野からテーマを選定する際は、戦略性の視点をもって選定する。



4 掲載内容

○「市民との共有」の観点に十分配慮した分かりやすいストーリー性が求められることから、テーマごとに①現状と課題、②10年間に行うべき戦略、③各主体の役割などを掲載する。

5 期間の考え方

○10年間（H25～H34）にやるべき戦略ではあるが、ある程度長期間を想定した基本目標に対応するため、10年を超える期間を見据えた戦略を立てる。
＜例＞①10年間での実現を目指すこと、②20年後を見据えて10年間で準備すべきこと など

6 実効性の確保

○戦略の実効性を確保するため、新まちづくり計画等へ位置づけるとともに、必要に応じて、庁内組織の見直しを行い、重点戦略の遂行体制を強化する。また、計画策定後においても、進捗管理・検証・見直しを適宜実施していく。